

たちばなや うま かんざし

橘屋 お馬 簪 髪に差し

かがみかわはた しやみ

鏡川端 三味の音

令和七年一月五日

大中臣正比呂



へ土佐の高知のはりまや橋で坊さん簪買うを見た ヨサコイ、ヨサコイ

竹林寺の僧、純信が恋仲の鑄掛屋（鑄物製品の修理店）のお馬に、
橘屋で買った簪を贈ったと云う。嗚呼しかし、悲恋物語である。

湯の町は湯布院から別府へ、そして渡海して道後に続き、
高速で高知へ出れば三翠園がある。

唄が三味線の音に乗せて、

高知を流れる鏡川端の料亭から聞こえてくる。